

「相模原市 広域交流拠点整備計画」に関する公開質問 回答書

1. 総論

1(1)

《質問》

「広域交流拠点整備計画」の目的は何ですか。

今後の人口減少社会を見据えるとき、計画のすべてに必然性があるとお考えですか。

また、基本計画にある「持続可能な都市経営」とは何ですか。具体的な例をあげてご説明ください。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】

本市が平成25年6月に策定した「さがみはら都市経営指針」の「3 都市経営指針 (1)本市の都市経営」では、「本市は、これまでの行政組織や事務事業の簡素・効率化を中心に取り組んできた行政改革を継承して策定した、都市経営ビジョンによる都市経営を進めているところであり、この理念を引き継ぎ、相模原市総合計画に掲げた『協働によるまちづくり』、『市民の満足度を高めるための行政評価と財政基盤の強化』、『都市にふさわしいまちづくり』の3つの基本方針を着実かつ積極的に取り組むことにより、持続可能な都市を経営する」こととしています。

このうち、「基本方針【3】皆で拓く！希望と熱意で輝くまち(大都市にふさわしいまちづくり)」の「ア 成長戦略に基づく基盤整備」においては、「安定した財政基盤を確立するためには、多様な都市機能の集積や都市基盤の強化、周辺都市との交流と連携を図りながら都市の自立性を高め、人や企業に選ばれる都市づくりを進めることが必要であり、「さがみ縦貫道路」の開通や「リニア中央新幹線」の駅設置、「小田急多摩線」の延伸など広域的な交通ネットワークの整備による新たなまちづくりの可能性が広がっていることから、これらの展望を踏まえ、中長期的な視野を持って都市基盤の整備、企業立地の促進等の産業政策を進める」ものとしております。

相模原市広域交流拠点整備計画につきましても、こうした指針の理念に沿った、持続可能な都市経営を目指す取組の一環として、現在策定を進めているものでございます。

1(2)

《質問》

計画に託された相模原市の将来像は何ですか。「魅力あふれる質の高い都市づくり」、「安全で安心して暮らせる都市づくり」などの言葉ではまったくイメージが描けません。抽象的な文言ではなく、私たちが暮らすまちをどうしたいのかを具体的にお示しください。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】

平成26年6月に策定いたしました「相模原市広域交流拠点都市推進戦略」におきましては、「広域交流拠点の理念と将来像」を以下のように定めています。

- 広域交通網を生かしたアジア・世界のゲートウェイとしての情報・人材・文化の交流、集積
- 本市全体、首都圏南西部全体の持続的な成長の源泉
- 社会経済情勢の変化に対応した暮らしやすく先進的な市街地の形成

この戦略に基づき、「相模原市広域交流拠点基本計画」におきましては、橋本・相模原両駅周辺地区の「まちづくりコンセプト」を以下のように定めています。

【橋本駅周辺地区】～産業の活力と賑わいがあふれる交流拠点～

- 広域的な交流・連携のゲートづくり
- イノベーション拠点としてのまちづくり

- 情報発信拠点としてのまちづくり
- 環境共生・人の暮らしに配慮したまちづくり

【相模原駅周辺地区】～ 安心とゆとりのある文化・行政が集積する中枢業務拠点 ～

- 多様な交流のまちづくり
- 産業・文化創造のまちづくり
- 環境共生・人の暮らしに配慮したまちづくり
- 安全・安心のまちづくり

1(3)

《質問》

(2)に関連して、2015年11月20日付けの神奈川新聞に市長と寺島実郎氏の対談特集が載っています。

寺島氏は、圏央道沿いに物流（ロジスティクス）大手の拠点が整備されている相模原は、太平洋と日本海を結ぶ戦略的なネットワークのベースキャンプだ、と話しました。市長もそれを裏付ける発言をされています。

これを読めば、相模原の将来像は、市内幹線道路をトラックが行き交う「物流のまち」だ、と印象づけられます。そう理解してよいですか。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】

広域交流拠点は、東京・名古屋・大阪をつなぐリニア中央新幹線と首都圏を環状につなぐ首都圏中央連絡自動車道(圏央道)が交差する位置にあります。

リニア中央新幹線は、南信州、中京圏(名古屋)、近畿圏(大阪)といった産業の集積地を結びます。また、品川駅は周辺部に企業の本社やものづくり中小企業が集積するエリアであるほか、羽田空港や都心の業務機能にもアクセス性が高い地域です。

このように、リニア中央新幹線の沿線は産業の中心地域を貫く活発な「産業軸」を形成します。一方、圏央道や国道16号は広域的な「物流軸」であるほか、その沿道は、JAXA(宇宙航空研究開発機構)相模原キャンパスや多様な大学など、研究機能が集積する本市のみならず、横浜、厚木、八王子、つくば、木更津等、公的研究機関や企業の研究開発機能が集積するエリアが結ばれることで、圏央道は環状の「研究軸」を形成しています。

この「産業軸」と「研究軸」・「物流軸」の交点に位置していることで、広域交流拠点は企業や人材が交流する上で大きなポテンシャルを持つ地域であり、ご質問における寺島氏の発言は、広域交流拠点が有する様々な可能性の1つの側面を指摘したものであると考えております。

1(4)

《質問》

3月1日付けの広報さがみはら 2ページ「平成28年度施政方針の概要」では、「将来を見据えた都市経営」の項で、「圏央道のインターチェンジ周辺における産業を中心とした新たな拠点づくり」とありますが、具体的にはどんなものですか。

《回答》【都市整備課、麻溝台・新磯野地区整備事務所、当麻地区拠点整備事務所】

相模原インターチェンジ周辺については、津久井地域の農地や豊かな自然環境を生かし、就労の場づくり、地域コミュニティの維持等のため、新たな拠点を形成するもので、平成28年度は「金原地区まちづくり実

施計画」の策定に取り組んでまいります。

相模原愛川インターチェンジ周辺については、麻溝台・新磯野地区及び当麻地区において、産業や自然環境などが共生する新たな拠点の形成を進めています。

1(5)

《質問》

2月3日の特別委員会の質疑において、計画の総額は「まだ内部的なものなので」とされ、示されませんでした。総額（概算額）、ならびに項目別の額をお示しください。可能でない場合は、いつお示しいただけますか。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】

事業費をお示しするためには、現在策定を進めております整備計画に基づき、JR横浜線連続立体交差事業や土地区画整理事業等の都市基盤整備に関する事業計画や、官民の役割分担などをより具体的にしていく必要があります。

今後、整備計画の策定後、こうした内容についてさらなる検討を深め、個別の事業ごとにお示ししてまいりたいと考えております。

1(6・7)

《質問》

スケジュール

計画には、リニア新幹線が名古屋～大阪市開業とされる約30年後の都市計画も含まれています。あまりにも先のことで、実際どうなるかわからない「不確定要素」も散見されます。計画を2つに分けて、第1ステージ（品川～名古屋市間開業まで）を今回の都市計画とし、第2ステージは、さまざまな不確定要素がはっきりした後まわすことはできませんか。

計画は、あまりにも広域かつ多岐にわたっているため、市民の理解の限度を超えています。その意味でも(6)のように分けて扱うことはできませんか。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】

- ・整備計画ではリニア中央新幹線の東京都～名古屋市間開業や小田急多摩線延伸が見込まれる平成39年を橋本・相模原両駅周辺地区の目標年次としております。
- ・そのため、優先的に土地利用や基盤整備を図るエリアを設定して、平成39年に向け、具体的な整備事業を検討するものとし、それ以外のエリアについては優先的に整備を図るエリアの進捗状況や都市機能の集積状況、社会情勢等の機運によって市街地の拡大を検討していくこととしております。

1(8)

《質問》

情報の共有と市民意向の反映

基本計画74ページには、「都市づくりに対する市民の関心や理解を深めるため、事業や制度について分かりやすく示す体制や、情報を手に入れやすい体制の充実を図ります」とありますが、実際にはこのように行われていません。計画段階からの市民参加は、現在では常識であり、市民意向の反映なくしては都市計画は、ありえないと考えます。市民の理解を深めるため、やり直すことが必要ではありませんか。そのためでした

✕ 3

ら、スケジュールの一部延期も関係方面の理解を得られると思いますが、いかがですか。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】

広域交流拠点整備計画の策定に当っては、検討委員会に3名の市民公募の委員に参画をいただいているほか、自治会や商店会の代表など、地域の皆様が主体となって設置したまちづくり推進組織などからも参画をいただき、ご意見をいただきました。こうした委員会における議論やパブリックコメントの実施等、市民の御意見を広く伺う機会を設け、計画に反映させていきたいと考えております。

また、まちづくりの具体化を図る段階におきましても、例えば道路整備に際しての説明会など、事業の進捗に応じて御意見を伺う機会を設け、スケジュールなどについて市民への周知を図り、意見の反映に努めてまいります。

2. 交通ネットワーク

2(1)

《質問》

リニア新幹線の橋本駅の乗降客は1日あたり4万人（答申2-42）とされていますが、その根拠は何ですか。

橋本駅停車本数は、JR東海は当初1時間あたり1本と言及していましたが。答申で1時間に5本としているのはどんな理由ですか。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】

乗降客数につきましては、平成23年度に神奈川県が行いましたリニア中央新幹線検討調査業務委託による需要予測の結果に基づくものです。また、停車本数につきましては、開業時の周辺状況等に応じて確定するものと聞いており、市としては、首都圏南西部の広域交流拠点として、また、神奈川県北のゲートとして停車本数の確保につなげるべきまちづくりを推進してまいります。

2(2) ア

《質問》

京王線橋本駅舎の南方向への移設について

京王電鉄は、今回の駅舎移設問題について現状ではどのように考えていますか。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】

駅の南側への移設については、乗換利便性の向上や、賑わいの形成に資するまちの回遊性の向上などの面から京王電鉄においても、必要性を理解いただいております。今後も実現に向けた関係機関等との調整を行ってまいります。

2(2) イ

《質問》

駅移設の費用は概算でどれくらいかかりますか。また、費用はどこが負担するのですか。

具体的に京王電鉄が「移設のメリットなし」として費用の一部負担を拒んだ場合、全額相模原市が負担するのですか。あるいはそれ以外の方法があるのですか。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】

84

駅移設の実現につきましては、関係機関との協議とともに更なる技術的な検討が必要となります。そのため、現段階において、具体の費用算出までは至っておりません。

費用の負担につきましては、引き続き、今後も関係者間との協議を行ってまいります。

2(2)ウ

《質問》

駅移設の今後のスケジュールはどうなっていますか。

「整備計画」では、橋本駅の「交流・賑わい軸の整備」が、リニアの名古屋開業予定に合わせて2027年までとなっていますが、京王線の新駅舎開業も2027年と考えてよいですか。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】

京王線の新駅舎開業につきましては、関係者間との調整やリニア駅の工事等との工程調整などが必要になるものと考えております。乗換利便性の向上を図る上では、リニアの品川名古屋間開業予定となる2027年に完成することが望ましいですが、現在、駅移設に関しては、協議中であるため、開業時期も合わせて調整が必要と考えております。

2(2)エ

《質問》

答申の第2章では、京王線橋本駅の「移設を前提としない整備計画」を立てていますが、第4章では「移設を前提に検討を進める」とあります。答申全体で一貫性がないことをどう理解すればよいのでしょうか。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】

交通結節機能の強化は、橋本駅の周辺整備にとって重要なものであり、その対応策として、京王線移設を4章で掲げたものです。考え方や方向性は一貫しているものと考えます。

2(3)

《質問》

小田急多摩線延伸の取り組みで、進捗状況は。

《回答》【交通政策課】

町田市、小田急電鉄等の関係機関を交えて事業化の実現に向けた検討を行っております。

2(4)ア

《質問》

横浜線 橋本～矢部の連続立体交差について 連続立体交差の目的は何ですか。

《回答》【相模原駅周辺まちづくり課】

踏切部における交通渋滞の解消、踏切事故解消による安全性の向上、南北一体の市街地形成などの効果を見込んでおり、相模原駅周辺における広域交流拠点の形成において、必要性の高い事業であると考えております。

2(4)イ

《質問》

JR東日本はどう考えていますか。また、費用はどこが負担するのですか。

《回答》【相模原駅周辺まちづくり課】

平成27年度にJR東日本と事業化に向けた調査に関する協定を締結したところです。将来の工事費の費用負担は、踏切除却や踏切事故解消等による鉄道受益費の相当額を鉄道事業者、残りの部分は国からの補助、及び本市の負担になるものと考えております。

2(5)

《質問》

橋本～相模原の連携道路整備の目的は何ですか。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】

広域交流拠点の広域的なアクセス性を高めることや、橋本・相模原の一体性を強化する動線として連携軸を形成することを目的としております。

2(6)

《質問》

圏央道 相模原ICから橋本へのアクセス強化の進捗状況はどうなっていますか。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】

橋本駅周辺地区については、圏央道相模原ICからの近接性を生かした道路ネットワークの形成により、広域的なアクセス強化が重要となることから、整備計画においては「広域連携軸」を相模原ICからのアクセス道路として位置づけを行っているところです。今後においては、その具体的な位置や構造、規模などの計画内容を具体化し、地域のみなさまに計画の説明を行うなど、理解を深めていただくことが必要であると考えております。

3. 橋本駅周辺

3(1)

《質問》

駅周辺の立ち退き予定家屋数はどのくらいですか。移住する方への補償条件のあらましをお示しください。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】

現在、まちづくりの対象エリアの検討を行っている段階であり、エリアの確定と合わせて対象地権者数も把握できるものと考えます。

また、補償等の条件については、区画整理事業や街路事業など整備手法により異なりますが、まだ、現時点で整備手法は決まっておりません。なお、事業手法は対象となる地権者の意向の把握や、費用対効果による事業性などを考慮し、決めてまいります。

3(2)

《質問》

県立相原高校用地に係わる相模原市の費用負担はいくらですか。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】

まちづくりに関わる道路などの公共用地の創出や確保等については、事業手法と合わせて神奈川県と検討中です。

3(3)

《質問》

帰宅困難者などのための施設は計画されていますか。その場所と収容人数をお示してください。その施設が完成するまで暫定的に使用できる施設は考えていますか。また、大規模火災から身を守るための樹林帯やスペースは考えていますか。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】

帰宅困難者などに対応できる空間として、交通広場やシンボル広場などを候補として考えております。また、広場だけではなく、産業交流ゾーンなども含め、公共的利用となる場所にも帰宅困難者対策の機能確保の検討が必要と考えております。

暫定的に使用できる施設及び大規模火災から身を守るための植樹帯やスペースについては、周辺施設や工事関係者等とその確保について検討してまいります。

3(4)

《質問》

南口駅前に市が計画している施設（ゾーン）について説明してください。機能、建物の高さ（階数）、民間マンションなどが併設されるかなど。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】

ゾーンごとの導入機能については、交通広場などの広域交流ゾーン、オフィスなどの複合都市機能ゾーン、展示場などのものづくり産業交流ゾーンに大別しておりますが、具体的な機能・建物などについては、現在、検討を行っております。

3(5)

《質問》

計画では、橋本駅周辺の工事を「優先的に土地利用を図る地区」は短期、中期とし、平成39年のリニア駅設置を目途」としています。(答申2-56)「短期」「中期」と言っても実際は、10数年の長きにわたる工事です。地域住民、駅やバスの利用者、ショッピング客などは予想外の混雑と不便を余儀なくされます。工事中の南口駅前はどうな状態になりますか。とくに歩行者、乗用車、バスについては、動線を使ってお示してください。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】

現在、駅前広場等の公共施設の整備に向けた施設配置など駅前空間形成に向けた検討を行っております。このような施設配置が決まった段階で、どのような工事をどのような手順で進めていくか関係者と調整を行ってまいります。

なお、工事中の歩行者、乗用車、バスなどの動線については、利用者にとって極力ご不便をかけず、安全に利用いただける空間を確保してまいります。

7

3(6)ア

《質問》

橋本駅周辺の長期工事（リニア新幹線開業以降）（答申2-56）

図の核周辺ゾーンについては、「・・・まちづくりの進捗状況や都市機能の集積の状況、社会情勢の機運に応じて民間主導によるまちづくりを促しながら、拠点的市街地の拡大を図ります」とあります。

核周辺ゾーンは、北口駅前の後背地、南口の複合ゾーンの西側、リニア駅より東のアリオに近いところ、があり、面積は「優先的土地利用を図る地区」に迫るものです。これは、長期計画とは言え、橋本駅周辺がそっくり都市化することを意味します。

核周辺ゾーンの土地利用計画について基本的方針を具体的にお示してください。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】

核周辺ゾーンは、「優先的に土地利用を図る地区」におけるまちづくりの進捗状況や都市機能の集積の状況、社会情勢等の機運に応じて、民間主導によるまちづくりを促しながら、拠点的市街地の拡大を図ります。」としており、市主導による市街地整備について現時点では考えておりません。

ただし、工事が進む中で、地域などからまちづくりに向けた要望や意見をいただくことがあれば、地域の方々ともまちづくりの検討を進めていくこととなります。

3(6)イ

《質問》

民間主導のまちづくりの内容を具体的にお示してください。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】

まちづくりを進めていく中では、地域などからまちづくりに向けた要望や意見をいただくことがあれば、地域の方々ともまちづくりの検討を進めていくこととなります。その際の検討の方向性として、民間主導のまちづくりを想定しております。

3(6)ウ

《質問》

答申では、「リニア新幹線の設置」「リニア新幹線開業以降」としてありますが、駅設置と開業では（試運転期間などのため）時間差があるのですか。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】

現時点では、駅設置と開業を平成39年と捉えて検討を行っております。

3(6)エ

《質問》

リニア駅開業をにらんでさまざまな商業施設が出店してくるようです。

リニア乗降客がそれほど多く見込めない中で、まちにはシャッター通りが現れるのではないのでしょうか。特に既存店が多い北口の商業施設は大きな影響を受けるかと思われます。お考えはいかがですか。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】



駅南北の回遊性を高めるため、交流・賑わい軸の形成を中心に考えております。南口だけではなく、北口も含めて商店街、自治会から更に意見をうかがいながら、より良い南北の回遊軸を形成してまいります。

4. 相模原駅周辺

4(1)

《質問》

一部返還部分について、土地購入のための市の負担はいくらですか。

《回答》【相模原駅周辺まちづくり課】

土地処分時の直近の評価において提示されることとなります。

4(2)

《質問》

駅周辺の立ち退き予定家屋数はどのくらいですか。

《回答》【相模原駅周辺まちづくり課】

補給廠返還地内については、立ち退きはありません。返還地外につきましては、今後の土地利用、交通ネットワーク検討の進捗の中で明らかになってまいります。

4(3)ア

《質問》

駅北口の返還予定地のホテル付き「国際コンベンションセンター」についてどんな施設ですか。想定される使用目的、面積、高さ、収容人数、経営形態など。

《回答》【相模原駅周辺まちづくり課】

国際コンベンションにつきましては、一般的には、企業等の会議、企業等の行う報奨・研修旅行、国際機関・団体、学会等が行う国際会議、展示会・見本市、イベント等が開催され、多くの集客交流が見込まれる施設とされております。本市における国際コンベンションの使用目的や施設の面積、高さ、収容人数、経営形態などにつきましては、情報、人材、文化の交流拡大の視点から現在検討を進めているところです。

4(3)イ

《質問》

リニア乗客に利用してもらうなら、なぜ橋本につくらないのですか。

《回答》【相模原駅周辺まちづくり課】

リニア中央新幹線や圏央道からのアクセスだけではなく、小田急多摩線の延伸構想も踏まえつつ、さらに、首都圏南西部においては主要なコンベンション施設が見られず、用地確保の容易性などから相模総合補給廠一部返還地に導入する機能の一つとして掲げているものです。

一方、橋本駅周辺地区につきましては、ものづくり産業交流ゾーンに産業の人材・情報の交流拠点や新たな製品・サービスの創造拠点として、圏域内外から産業・経済の交流のために利用される機能として、展示場、会議室などが掲げられております。今後、国際コンベンションともものづくり産業交流ゾーンの連携を含め、具体的な検討をして進めていくものと考えております。

4(3)ウ

《質問》

相模原市にとって必要性があるとは思えません。国の誘致方針に従っただけではありませんか。

《回答》【相模原駅周辺まちづくり課】

本市における国際コンベンションにつきましては、本市の昼間人口の拡大を図り、ビジネスチャンスの拡大や地域ブランド力の強化などにより、産業の振興をはじめとした総合的な都市力の向上に繋がるものと考えております。

4(3)エ

《質問》

首都圏には競合する既存の施設がいくつもあります。これらに並ぶことができず、稼働率が低く、経営不振に陥った場合、どこが責任をとるのですか。

《回答》【相模原駅周辺まちづくり課】

今後、必要な需要を把握し、集客力の向上に向けた戦略やJAXAをはじめとした地域資源の活用などの具体的な方策、施設規模、事業手法、運営手法について検討してまいりたいと考えております。

4(4)

《質問》

相模原駅周辺は、北口の返還予定地の利用は示されていますが、南口については示されていません。一例をあげると、ラーメン屋が並ぶバス通り、昔栄えた西門商店街は、そのままの姿で存続するのでしょうか。

《回答》【相模原駅周辺まちづくり課】

相模原駅周辺地区につきましては、広域交流拠点整備計画におきまして、相模総合補給廠一部返還地のある「駅北口地区」、駅南側の既存市街地がある「駅南口地区」、市役所周辺の「市役所周辺地区」の3つを重点的に検討が必要な地区として、整備の方向性を掲げております。

「駅南口地区」につきましては、既存市街地のポテンシャルを生かした「都市リノベーション」を図るとして整備の方向性を掲げております。今後、駅北口地区の整備の進捗との整合を図りながら検討をし、相模原駅周辺地区全体の発展に向けて進めてまいります。

4(5)

《質問》

答申では、連続立体交差をつくり、多摩方面～相模原駅～国道16号線の車の流れをスムーズにする計画と読めますが、現状ではこの道路の混雑状況はどうなっていますか。乗用車、トラックなど車種ごと、時間帯別ではどうですか。また、この路線を強化することによって何をめざしますか。

《回答》【相模原駅周辺まちづくり課】

現在の県道相模原立川線は、15,000台程度の交通量がありますが、車種別の交通量は把握しておりません。町田市側で整備済みの南多摩尾根幹線と接続する道路の計画により、多摩方面および16号方面から相模原駅北口へのアクセス性を高め、駅北口のポテンシャルを最大限に生かせるものと考えます。

4(6)ア

《質問》

小田急多摩線延伸について

小田急電鉄、町田市の意向はどうなっていますか。

《回答》【交通政策課】

小田急電鉄、町田市と共同で「小田急多摩線延伸検討会」において小田急多摩線延伸の実現に向けた検討を行っております。

小田急電鉄につきましては市公共交通整備促進協議会による延伸実現の要望に対して、鉄道ネットワークとしての役割や旅客の乗り継ぎ利便性向上の観点から必要性は高いと考えているものの、小田急電鉄単独での整備は不可能であり、公設民営方式による整備が必要であるとの回答をいただいています。

町田市につきましては、両市長間で覚書を交わし、延伸の実現を目指した取組を進めることとしております。

4(6)イ

《質問》

費用負担はどうなりますか。

《回答》【交通政策課】

費用負担については、鉄道整備に関する国の補助制度である「都市鉄道利便増進事業費補助」の適用を想定しており、同補助制度では国、地方、整備主体の3者が費用を3分の1ずつ負担するとされています。地方負担分は沿線自治体で分担することになりますがその負担割合は今後の協議によるものです。

4(6)ウ・エ

《質問》

上溝～新宿を小田急多摩線経由で行く場合（想定）と上溝～橋本（相模線）～新宿（京王線）では所要時間はどうなりますか。

乗客はどのくらいと見込んでいますか。地域における市場調査は行いましたか。
また、経済効果はどのくらいですか。鉄道建設費を上回る利益は得られますか。

《回答》【交通政策課】

小田急多摩線唐木田駅から相模原駅・上溝駅の延伸については、平成24・25年度に学識経験者、国、東京都、神奈川県、町田市、相模原市、鉄道事業者等で構成する「小田急多摩線延伸計画に関する研究会」において検討調査を実施しました。以下につきましては、その研究結果となります。

延伸後の上溝駅から新宿駅までの所要時間については、午前8時30分前後の新宿駅到着を前提に、調査時点での所要時間と比較した場合、27分の短縮が見込まれました。

乗客については、パーソントリップ調査、国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」、国勢調査などから得られた情報を基に予測を行っており、その結果、延伸区間における1日あたりの輸送人員は69.7千人（開業時点）と予測されております。

その他、小田急多摩線延伸による効果については、国が定める鉄道整備の社会的な意義や効果等を把握するための「鉄道プロジェクトの評価手法マニュアル（2012年改訂版）」に基づいて分析を行ったところ、

開業後30年経過した時点での便益（鉄道整備による時間短縮、混雑緩和、運賃の軽減等を貨幣換算したものは費用を上回り、社会的に意義のある事業であることが確認されました。

5. その他の事項

5(1)

《質問》

広域交流拠点整備計画と市の「水と緑の基本計画」の整合性はどうなっていますか。

橋本駅周辺は現状でも緑が少ないので、整備計画実施によって緑被率はさらに減るのではないかと心配です。

《回答》【リニア駅周辺まちづくり課】

水とみどりの基本計画（平成22年度から平成31年度）において、「恵み豊かで美しい自然環境を守り・育てます」などの基本目標をもとに、「都市緑化の推進」「市街地における公共施設や民有地の緑化の推進」などの目標水準が定められております。

整備計画におきましても、やすらぎを感じる駅前空間形成を景観形成の考え方として掲げており、リニア駅の地上部の活用や、駅前空間における緑化の推進を図ることなどにより、相原高校の豊かな緑を継承し、緑ある空間を確保してまいります。

文 書 送 付 票

送付先	リニア新幹線を考える相模原連絡会 浅賀様
件 名	「相模原市 広域交流拠点整備計画」に関する公開質問 のご回答について
送付元	相模原市役所 都市建設局 広域交流拠点推進部 リニア駅周辺まちづくり課 道祖 住 所 〒252 - 5277 相模原市中央区中央 2-11-15 電 話 042-707-7047 (直通) FAX 042-754-8490
送付日	16/4/21
枚数	一枚 (送付票含む)
	<p>いつもお世話になっております。 リニア駅周辺まちづくり課道祖です。</p> <p>ご回答が遅くなり申し訳ありませんでしたが、別紙のとおり回答をお送りさせていただきます。</p> <p>先ほどお電話しましたが、ご不在でしたので、ご説明の日時について改めてご相談させていただければと存じます。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>